

Walkable City Minakama

2022年美濃加茂市10大ニュース



「世界中の人があこがれるまち」の実現に向け新市政スタート 藤井浩人市長の就任

令和4年1月23日に執行された選挙によって、第21代目となる藤井浩人市長が誕生しました。

4月には佐藤文彦副市長、古川一男教育長が新たに就任。現場で市民の声を聞き、その声をカタチにしながら、市民一人一人が主役として未来を見据えた「世界中の人があこがれるまち」を目指す市政運営がスタートしました。

藤井市長は、最初の就任から数え、3期4回目の当選となります。



「すべての健康のために」 中部国際医療センター、みのかも健康プラザがオープン

美濃加茂市の「健康」の拠点となる「みのかも健康プラザ」と、可茂地域の救急医療を担う「中部国際医療センター」が健康のまち一丁目に1月オープンしました。

官民連携したさまざまな事業を展開し、健康増進、健康寿命の延伸のため取り組みを進めていきます。12月には健康キャラクターの決定や、みのかも健康10か条が策定されるなどウォークアブルシティの名の通り着実に歩みを進めています。





新たな拠点で子育てに安心を。 にじいろ広場、あじさい保育園の開設

子育て支援の拠点として、1月に健康プラザ内に「にじいろ広場」、4月に古井第一、古井第二、蜂屋保育園を統合した、「あじさい保育園」をオープンしました。

市内3つ目の子育て支援拠点となるにじいろ広場は土日も開園しており、多くの子育て世代に利用いただいています。

あじさい保育園の園庭は遊具を設置しない、園児や保育士、保護者などが一緒になって一から築き上げていくのが特徴で、地域の方々との交流エリアや避難所機能なども持った保育園です。



市役所新庁舎整備における市民アンケートを実施

今回の市民アンケートは、新庁舎整備に対する意見や考えを把握し、これまでの進め方について検証を行い、今後の進め方の参考とするため実施しました。

高い精度で市民全体の傾向を把握するため、無作為抽出した市内に在住する15歳以上の市民4000人を対象に実施した結果、回収率45.2%、計1809人から回答がありました。現在、新庁舎整備事業プロジェクトチームにおいて検証作業を実施していますが、検証作業後は、市民の意見や考えに沿った新庁舎整備を進めていきます。



美濃加茂におんさい！3年振りに各イベントを開催

新型コロナウイルス感染症によって中止していた「おん祭 MINOKAMO 夏の陣～市民花火大会～」や「おん祭 MINOKAMO 秋の陣～中山道まつり～」、「みのかも市民まつり」や「環境フェア」が、新型コロナウイルスへの対策を十分に行ったうえで、それぞれ3年ぶりに開催されました。

いずれのイベントも天候に恵まれ、市内外から多くの方が来場し笑顔とにぎわいが溢れました。





美濃加茂市議会、新体制スタート

10月2日執行の市議会議員選挙は、無投票で、現職10人、元職1人、新人5人が当選。議員16人のうち5人が女性議員で、これは本市で過去最多、県内では最も高い女性比率となっています。

また、10月20日開催の市議会臨時会において、渡辺孝男議員が議長に、金井文敏議員が副議長に選出され、新体制がスタートしました。

これからも、議員それぞれの抱負を胸に、「市民の幸せと未来に続く安心安全なまち美濃加茂市」を実現するために、皆さんの声を市政に届けます。



アベマキ学校机プロジェクト 「ウッドデザイン賞2022」を受賞

市内に多く自生しているアベマキを小学校の学校机に活用する「アベマキ学校机プロジェクト」が、一般社団法人日本ウッドデザイン協会主催のウッドデザイン賞を受賞しました。

昨年度から、伊深小学校、三和小学校でもプロジェクトを開始し、山之上小学校では6年目を迎え、卒業した児童に6年間使った学校机をブックスタンドに加工しプレゼントする等新たな広がりも展開しています。

なお、同賞の受賞は2015年以来2回目となるほか、2018年にはキッズデザイン賞も受賞しています。



第19回坪内逍遙大賞を松岡和子さんが受賞

美濃加茂市が生んだ日本近代文学の先駆者である坪内逍遙を顕彰することを目的とした、「第19回坪内逍遙大賞」を翻訳家の松岡和子氏に授賞し、その授賞式と記念事業が行いました。

松岡さんはシェイクスピアの全37戯曲を1993年から28年の歳月をかけて翻訳するという偉業を達成した方です。10月13日に実施した授賞式と記念事業「逍遙訳と松岡訳で楽しむシェイクスピア劇の世界」は多くの皆様にご観覧いただきました。





美濃加茂商工会議所、新体制スタート

4期12年の長きにわたり商工会議所の会頭を務め、美濃加茂の地域経済を牽引されてこられた鈴木登氏（写真右）が10月末の任期満了をもって退任されました。

10月28日に開催された商工会議所の臨時議員総会において、後任に副会頭の則竹晃司氏（写真左）が新たな会頭に選任。副会頭は再任1名、新任2名が選任され、11月から商工会議所の新体制がスタートしました。



逍遙園 20周年を祝い姉妹都市ダボリージョン訪問

平成14年にオーストラリアのダボにあるエリザベス公園内に整備された日本庭園「逍遙園」が、開園20周年を迎えることに合わせ、古川教育長を団長とした訪問団がダボを訪れ、11月20日に開催された記念イベントへ参加しました。

姉妹都市交流のシンボルである逍遙園は、オーストラリアに住む人がたいへん多く訪れる人気スポットになっており、当日も、太鼓の演奏や、園内にある茶室「寿里庵」にてお茶会が開かれるなど多くの人で賑わっていました。

